

地域が高齢化し、隣近所の助け合いが望まれる中で、白岩町西部自治会で町内有志の協力を得て、平成28年4月にワンコイン（100円）の「助け合い活動」が始まりました。

生活支援

サービス実施項目（抜粋）

- 蛍光灯、電球等の取り替え
- 庭木の枝の伐採（庭木の剪定は除く）
- 買い物の代行、または同行
- 室内の掃除
- 通院の付添い、薬の受け取り
- 布団干し／取込み
- 破れた網戸の張り替え
- 窓ふき（脚立等を使用する場所の）
- パソコンの操作補助
- 水道の水漏れ
- エアコンのフィルターの清掃
- 家具の移動（二人で実施可能な内容）
- 室内の掃除（家具、家電の下、裏等）

サービス実施例 木の枝の伐採



サービス実績

作業内容	H28年度	29年度	30年度
庭木の剪定	24	14	3
網戸張替え・家外回り清掃	19	4	5
包丁研ぎ	7	7	4
ゴミ出し・センター持ち込み	4	6	3
家具移動・電球取り換え等	2	1	0
水道漏れ・トイレつまり・パソコン作業	6	9	3
簡単な大工仕事・倉庫片付け	9	6	9
※30年度は11月までの実績	71	47	27

地域が高齢化し、隣近所の助け合いが望まれる中で、白岩町西部自治会で隣近所の相互の見守りに加え、特に必要性のある高齢者を対象に、個別の見守り支援を令和元年度より開始されました。

見守り

隣近所の見守りが基本！！

【チェックポイント】

- ・夜に電灯がつかない
- ・昼間や夜中も電灯がついている
- ・郵便受けに新聞、郵便物が溜まっている
- ・昼間、雨戸が閉めっぱなし
- ・夜に雨戸が閉まっていない
- ・普段とは何か違う・・・



近所の見守りだけでは不安・・・

家族が遠方ですぐに対応できない高齢者を対象に・・・

「元気コール」

- ・毎日決まった時間に、決まった人（民生委員）にワンコールする（話したいことがあれば、ワンコールではなく、相手が出るまでコールする）
- ・ワンコールがなければ、見守る側（民生委員）が安否確認を行う

⇒ 電話する ⇒ 訪問する ⇒ 緊急連絡先へ連絡する

メリット：費用がかからない、比較的早く安否確認ができる

デメリット：毎日ワンコール（電話）をする必要がある